

四日市あすなろう鉄道のイメージソング制作 名古屋の伊藤さんら



ライブで「あすなろう鉄道イメージソング」を歌う
伊藤さん（右）ら＝四日市市諏訪町で

昨年4月に新会社の運行に移行した「四日市あすなろう鉄道」。その応援歌を、前身の近鉄内部・八王子線時代に沿線に住んでいた人たちが作った。乗客数の減少など課題も残る中、路線がいつまでも残ってほしいと、願いを込めている。

カントリー調の「あすなろう鉄道イメージソング」を制作したのは、四日市市泊村出身の伊藤守人さん（62）が率いる名古屋市のバンド「プラネットラブ」。メンバー4人のうち3人が四日市市出身だ。

伊藤さんは勤務先の名古屋市内に転居するまで、通勤に利用していた。「仕事で疲れて帰る時、あの独特の揺れが癒やしてくれた」という。曲の中でも「今日の1日に感謝して 輝く街四日市にありがとう」と歌う。

6月末に四日市市のジャズバーで開かれた発表ライブでは、沿線住民らも駆け付けて演奏に耳を傾けた。「赤堀、日永、南日永…」と駅名が続くフレーズでは、来場者も一緒に声を重ねた。

ホームページ (<http://www.planet-love.co>) で聴けるほか、CDも販売する。（問）プラネットラブの池田みゆ樹さん＝090（7916）1007